

井高 だより

平成27年度
第4号

2015年7月15日
発行：岡山県立井原高等学校
<http://www.ibara.okayama-c.ed.jp>

大奮闘！球技大会



五月二十二日、球技大会が行われました。夏到来を思わせるじりじりとした太陽の下、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球、ドッジボール、ソフトボールの六種目が行われ、熱した戦いが繰り広げられました。各クラス勝利を目指して一致団結し、クラスの団結も強まりました。三年生にとっては、高校生最後の球技大会。気迫が勝り、今年も三年生が優勝、準優勝を勝ち取りました。

社会貢献活動講演会

生徒の感想より
「藤井先生の講演を聞いて動揺した。「他人から言われて、『それでいいか』と流されている人がある。」という趣旨の話題があったからだ。その人物に僕はビタリとあてはまってしまった。ではどうするかという話だが、僕は『他人の意見』を聞き、それを自分の中で『活かす力』というものが必要だと思った。ただ友人や家族、先生の話聞くだけでは今までのままになってしまふので、他人の話聞いて、自ら考え、自分の意見を発することを頑張ろうと思う。」

五月二十九日、井原市教育委員会生涯学習課社会教育主事 藤井 剛 先生を講師にお招きし、普通科一年生から三年生を対象に社会貢献活動講演会を実施しました。学年の違うグループの中で自分の考えや夢を話すワークシヨップも行いました。自分のやりたいことは何なのか、を改めて考えたという感想も多かったです。

社会貢献活動講演会
「今、身につけておきたい『高校生力』とは！？」
『可能性は∞ 夢源大』



白熱するプレーに注目！



結果発表に大きな歓声



清掃ボランティア

五月三十一日、井原高校有志による清掃ボランティアが実施されました。晴れやかな日差しの下、汗を流しながら清掃する姿が印象的でした。今回のボランティア活動では、主に通学路や学校周辺の地域を清掃し、終えたあとの清々しい表情からは生徒の達成感が伝わって来ました。



(中略)講演の中で「『吐く』という字は口という字のとなりに土という字があり、良いことも悪いことも口から吐くことでやがては土の下の一がとれて『吐く』という字になる」という話を聞いてすく「オオッ！」となった。これからの人生を生きていくために、『自分からする』ことが大切であることを考えさせられた。」

